

社会福祉法人尚徳福祉会 日野保育園 2023年3月

暖かな日差しを感じられる日が増え、本格的な春の訪れを感じます。散歩に出かけると、色とりどりに咲く花を見て「お花、かわいいね」と嬉しそうに眺めている子どもたちです♪

そして春を迎え、今年度もあと1か月となりました。入園・進級からの1年間を振り返り、心も身体も大きく成長したことをひしひしと感じる今日この頃です。残された一日一日を大切に…思いきり楽しんでたんぽぽ組の思い出を作っていきたいと思います。



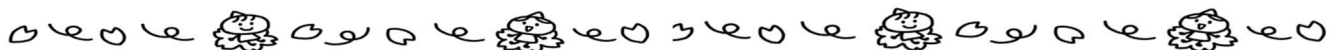
☆すみれ組さんになるね☆

靴下や靴を自分で履けた時、苦手な野菜を食べた時…できるようになったことを喜んでいる子どもたち。最近ではそんな場面で「すみれ組さんになるんだもんね☆」という言葉が交わされています。二階のお部屋になることや、テラスにいるカメを見られることが楽しみなようです。大きな期待とともに、環境が変わることでの戸惑いや緊張もでてくることと思います。安心して進級できるよう、すみれ組の部屋で過ごしたり、幼児クラスのお兄さん・お姉さんと関わっていったりしていきたいと思います♪



☆かわいいおひなさま☆

「あかりをつけましょ ぼんぼりに〜♪」と歌いながらひな人形を眺める子どもたち。初めは馴染みのない白い顔の人形にちょっぴり戸惑う子もいましたが、きれいな着物や冠に少しずつ興味が湧いていきました。そんなたんぽぽ組のひな祭り制作では、にじみ絵に挑戦!!湿らせた障子紙に絵の具をとんとんとつけていくのですが、保育者が紙を濡らしているのを見て「なんで!?!」と不思議顔をしていました。その紙に、指で絵の具をつけていくとじわーっとにじんでき、「あれ?」「きれい☆」と大喜び☆世界に一つの可愛いひな飾りが出来上がりました。



☆楽しい一年をありがとうございました☆

たんぽぽ組がスタートした頃は新しい環境・初めての集団生活に戸惑い、おんぶや抱っこで過ごすこともありました。少しずつ園生活に慣れると、好きな玩具・遊びを見つけたり、保育者と遊んだりする中で笑顔を見せてくれるようになりました。そして、さまざまな遊びを経験するうちにクラスの友達に興味を示し始め、自分から声掛けをして関わろうとしたり、一緒に遊んだりする姿が増えてきました。泣いている友達がいると「どうしたの?」と声をかけてティッシュを差し出したり、顔を覗き込んで心配そうな表情を見せたり…そんな姿を見て、子どもたちの心の成長を感じました。

そして、前期にはバギーに乗って出かけていた散歩も、今では友達と手を繋いで長距離を歩けるようになりました。時には疲れて座り込むこともありますが、歌をうたったり励ましあったりして皆で元気に歩けたことを喜んでます。たくさん歩けるようになったことで、1歳児なりに自信がついてきているように思います。

日々、成長していく子どもたちの姿を傍で見守ってあげたこと、笑い声で溢れる楽しい毎日を過ごせたことを幸せに思います。一年間、至らない点が多々あり、ご迷惑をおかけしましたが、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきありがとうございました。これからも、大きく育っていく子どもたちを応援していきたいと思っております!!

2022年度 たんぽぽ組担任一同